

# 共創会議における取組状況

関西電力株式会社

2025/2/10

# 1. 前回会議で見直された取組項目について

## 地元企業の活用

- 原子力部門における工事発注や物品購入について、地元企業の活用に取り組んできたが、今年度新たに、**全ての工事の仕様書に「地元企業活用」を求める記載を追加**。加えて、**元請企業の競争発注審査時の評価項目に「地元企業活用」を追加した新たな入札加点制度を導入**。

	特命発注	競争発注								
従来からの取組み (今後も継続)	○工事の大部分を占める特命発注について、安全衛生協議会等において元請企業に地元企業の活用を要請	○地元企業で施工可能な工事は、原則、地元企業間での競争発注を実施								
新たな取組み	<p>○<b>全ての工事（競争発注を含む）の仕様書に「地元企業活用」を求める記載を追加し、明文化（2024.12～）</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">～請負工事一般仕様書（抜粋）～</p> <p>○地元企業の活用について                      工事の施工にあたっては、下請け企業への工事発注に加え、事務用品等の購入や工事関係者の宿泊施設の確保に際し、可能な限り地元企業を活用すること。                      特に合理的な工事实施のため、通勤費・宿泊費等の低減が期待できる原子力発電所の立地町内企業および周辺自治体内企業等の活用を検討すること。                      また、1次下請け企業に対しても、2次下請け先として、前述の考えに基づき、地元企業の活用を推奨すること。</p> </div>	<p>○<b>地元企業間で競争発注できない工事について、元請企業の競争入札審査における評価項目に「地元企業活用」を追加した「入札加点制度」を新たに導入（2024.6～）</b></p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">追加内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">評価項目</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">評価項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">コスト</td> <td style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">技術評価</td> <td style="text-align: center;">技術評価</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; border: 2px solid red; color: red;"><b>地元企業活用</b></td> </tr> </tbody> </table> </div>	評価項目	評価項目	コスト	コスト	技術評価	技術評価		<b>地元企業活用</b>
評価項目	評価項目									
コスト	コスト									
技術評価	技術評価									
	<b>地元企業活用</b>									

## 企業誘致① (オプテージ)

- この度、100%子会社である株式会社オプテージが、関電グループとして初めて、生成A I 向けコンテナ型データセンター事業に参入し、美浜町に本データセンターの開設を決定。
- このデータセンターは、原子力由来のC O 2フリーの電気を使用し、ゼロカーボン社会の実現にも貢献。

### 【オプテージの概要】

設立：1988年4月2日 所在地：大阪府大阪市中央区城見2丁目1番5号 オプテージビル

事業：電気通信事業、有線一般放送事業、小売電気事業、警備業、情報システム、電気通信ならびに放送に関するシステム開発、運用、保守業務の受託

### 【事業概要】

- ・設置場所 : 福井県三方郡美浜町内
- ・設置面積 : 約500㎡/コンテナ
- ・サーバー数 : 最大32台設置可能 (GPUサーバー※)
- ※GPUとは、Graphics Processing Unitの略で、生成AIに欠かせない高性能な画像処理装置。
- ・用途 : 生成A I 学習用ほか
- ・消費電力 : 約500kVA

### 【今後のスケジュール】

2026年度中 運用開始※ (予定)

※運用開始3年後、事業検証予定。

※事業検証結果や事業状況を踏まえ、将来的な拡大の可能性あり。

### <コンテナ型DC (外観、GPUサーバ設置) イメージ>



## 企業誘致② (TVE)

○本年度、協力会社である株式会社TVEが、当社協力のもと、おおい町の産業団地に進出。

【TVEの概要】

設立：2000年3月16日 所在地：兵庫県尼崎市西立花町5丁目12番1号

事業：国内外の原子力や火力発電所など各種産業用プラントにおける様々なニーズに沿った各種バルブについて、設計、製造からメンテナンスまでを行うバルブエンジニアリング会社



おおい町しごとみらい産業団地

建設予定地

区画①  
11,659㎡

【経緯】  
2024年11月8日 TVEとおおい町との立地協定締結

【今後の予定】  
2025年12月頃 新工場着工  
2026年12月頃 第一工場竣工 [バルブ製造]  
2030年以降 第二工場竣工  
[廃棄物収納容器等の製造]

## 嶺南 6 市町における新たなゼロカーボン・スマートタウン整備

- 当社は、福井県や嶺南 6 市町とともに、嶺南地域の特徴を活かしたゼロカーボン・スマートタウン整備に向け取組中。
- 具体的には、開発地点の確定に係るマーケット調査や、嶺南 6 市町共通の全体コンセプトづくりについて、主体的に取り組んできた。今回、嶺南地域の将来像の実現に向けたゼロカーボン・スマートタウンの共通認識を持つべく、福井県・嶺南 6 市町と共同で全体コンセプト骨子を策定（2025年 3 月末に確定予定）。
- 今後、福井県・嶺南 6 市町とともに、開発地点や開発事業者を選定の上、開発事業者と連携して整備を進めていく。

### 【全体コンセプトの骨子の考え方】

“嶺南地域がゼロカーボンを牽引する”という将来像の実現に向け、

- ・暮らしとテクノロジーを繋ぐことで魅力的かつ安心安全な生活基盤を構築し、
- ・スマートタウン同士を繋ぐことでスケールメリットの創出や市場参入を目指し、
- ・嶺南地域と県外を繋げることで県外からの移住定住を促す、

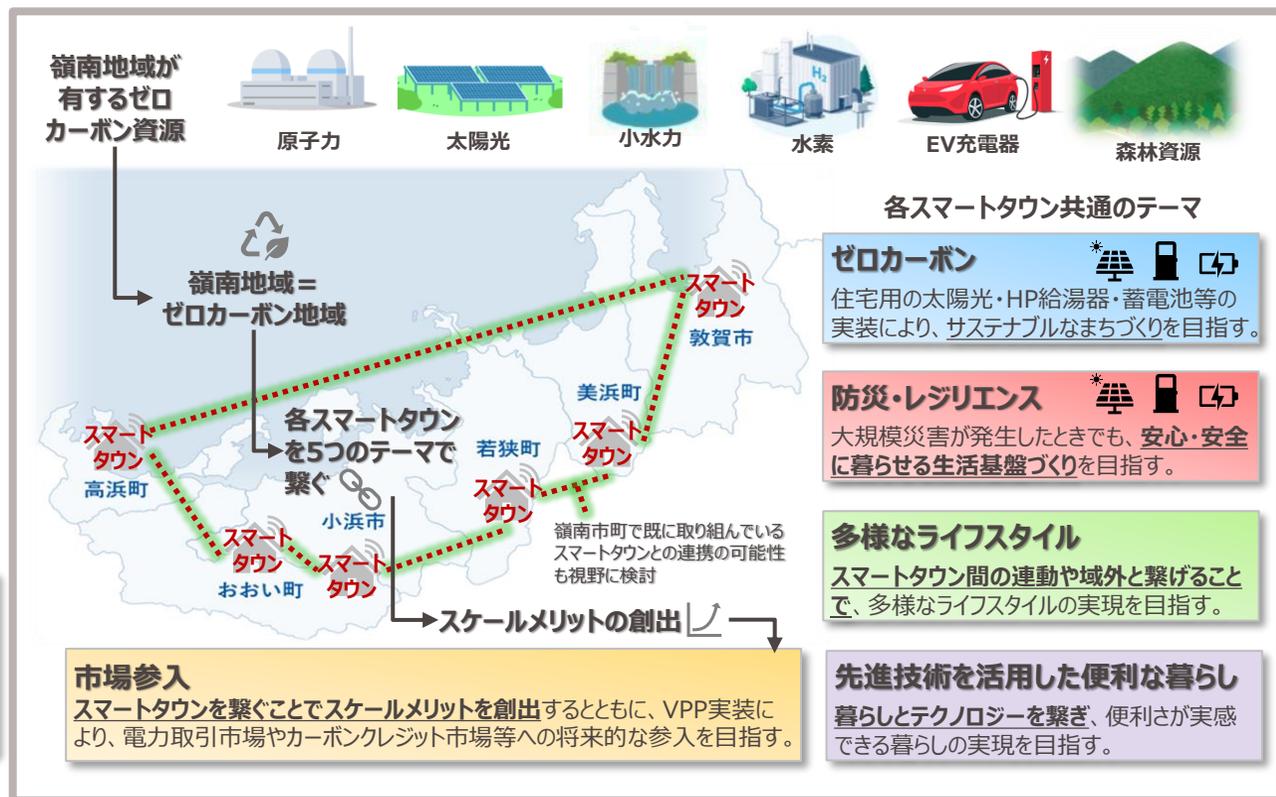
といった“連動型スマートタウン”を目指す。



Zero Carbon Lifestyle Area “REINAN Connected”  
**ゼロカーボンライフスタイルエリア**  
**“嶺南コネクテッド”**

※コネクテッドとは、接続された、連結した、結び付けた、関連をもつこと。  
 IoTの分野では「インターネットに接続された」という意味。

### 全体コンセプト（骨子）



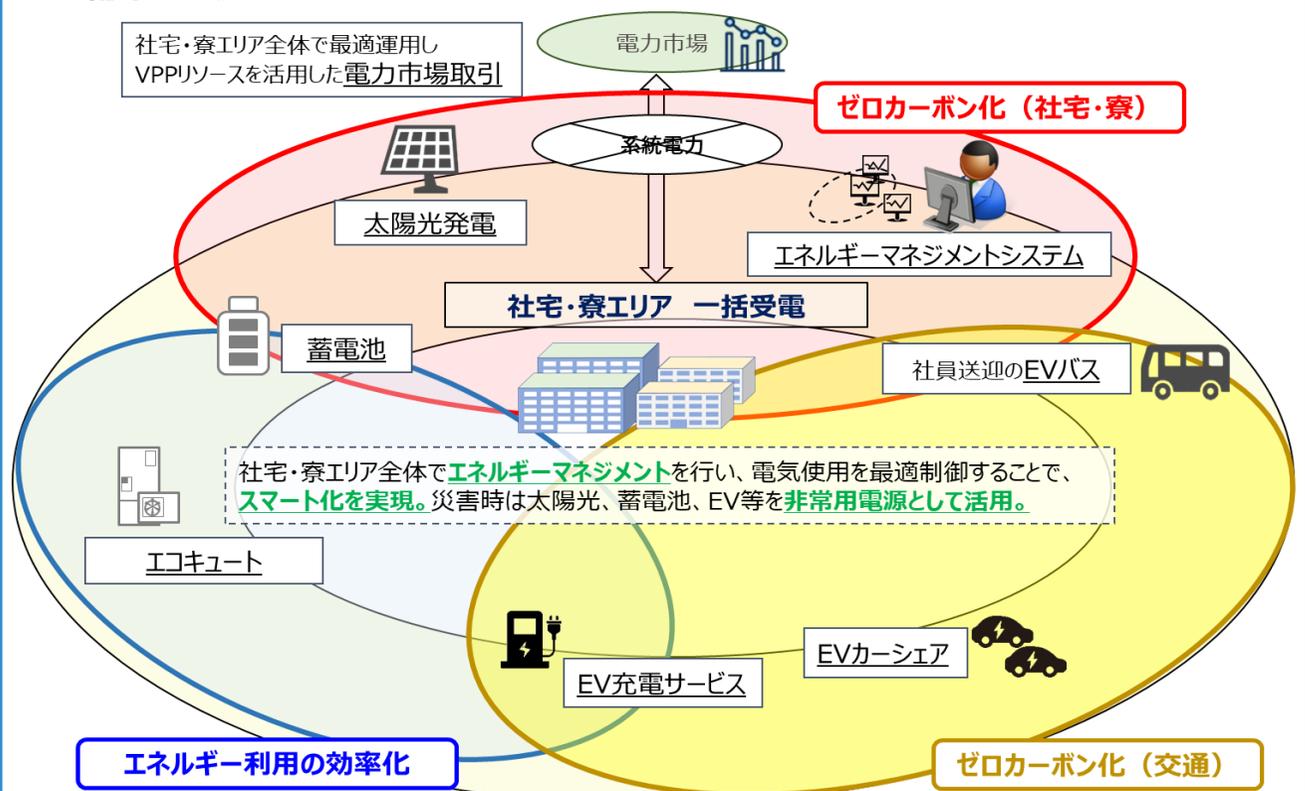
# 社宅・寮を核としたスマートタウン化

- 嶺南地域におけるゼロカーボン・スマートタウン整備の一環として、将来の地域への展開も見据えて、太陽光発電や蓄電池などの設備を導入し、省エネ・省CO<sub>2</sub>の実現を目指した社宅・寮の整備を図る。

〔 ・ 高浜町安土地区に400戸程度、おおい町本郷地区に300戸程度を整備  
 ・ 2025年度から調査設計を開始、順次整備を進め、2030年頃までの完成を目指す 〕

- また、地域の皆さまも活用できるEV充電サービスやEVカーシェアサービスを導入するとともに、災害時には、太陽光発電、蓄電池、EV等を非常用電源として地域へ開放することも計画。
- 将来的に周辺地域の整備が進めば、さらなる暮らしのお役立ちサービスの提供・地域への開放も検討。

## <整備イメージ>



## 将来ビジョン

さらに、暮らしのお役立ちサービスについても提供を計画

ゼロカーボン電源である原子力発電を営む嶺南地域においては、今後、社宅・寮を建設するにあたり、スマート化を検討



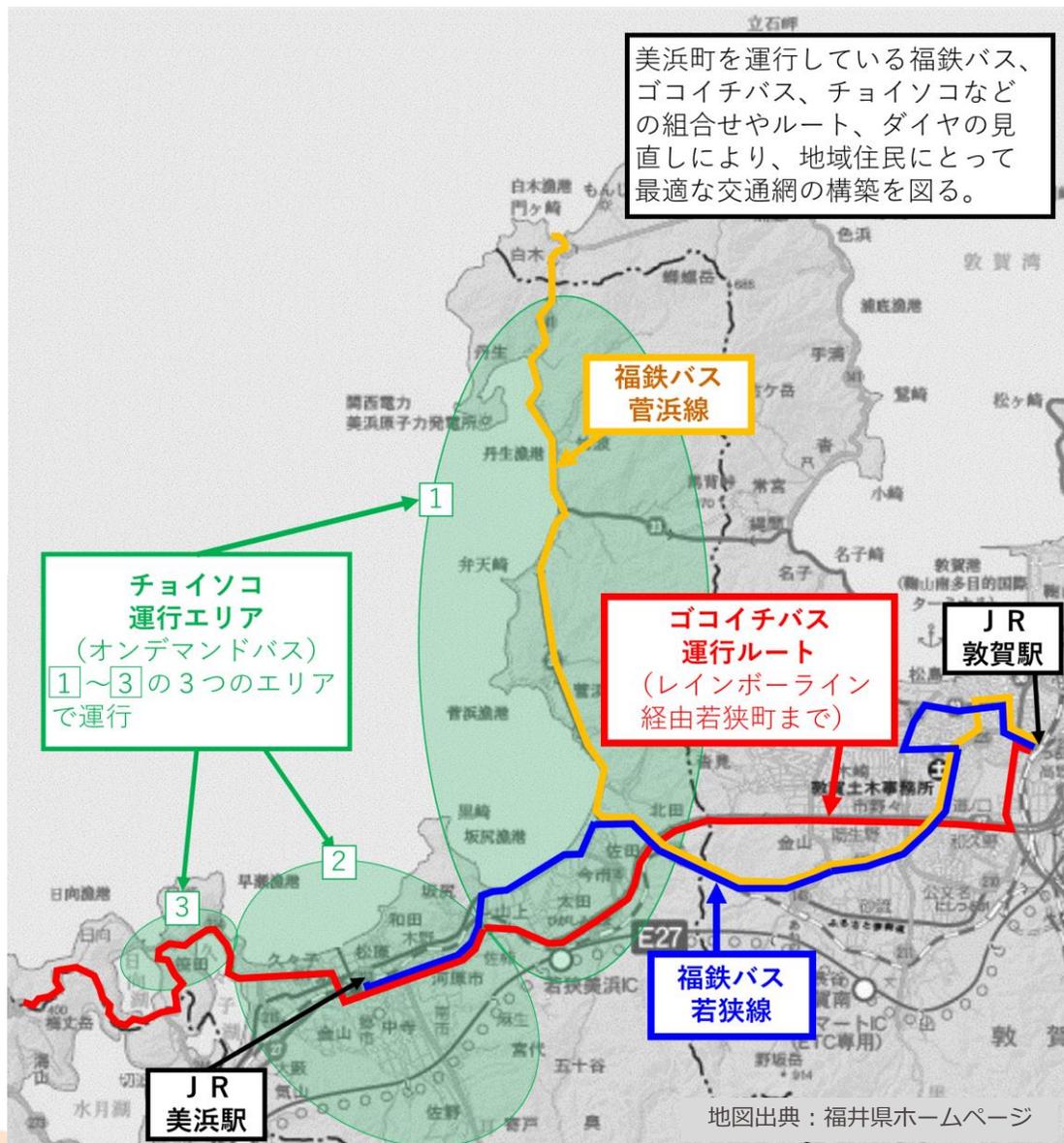
※ 災害時の非常用電源のほか、EV充電サービス、EVカーシェアは近隣地域の皆さまにもご活用いただけるよう検討

## 嶺南地域における地域交通の充実

- 嶺南地域における地域交通の充実を推進。
- まずは、2025年3月末にバス路線（菅浜線）が廃線となる美浜町において、今ある様々な公共交通機関のあり方を見直し、**地域住民にとって最適な交通網の構築を図るべく、町と共同でコンサルティング会社に委託し調査を実施。**
- その調査結果（ノウハウ）を、順次、嶺南地域全体に展開。その際、補助金を活用したEVバス導入等のゼロカーボン化も志向。

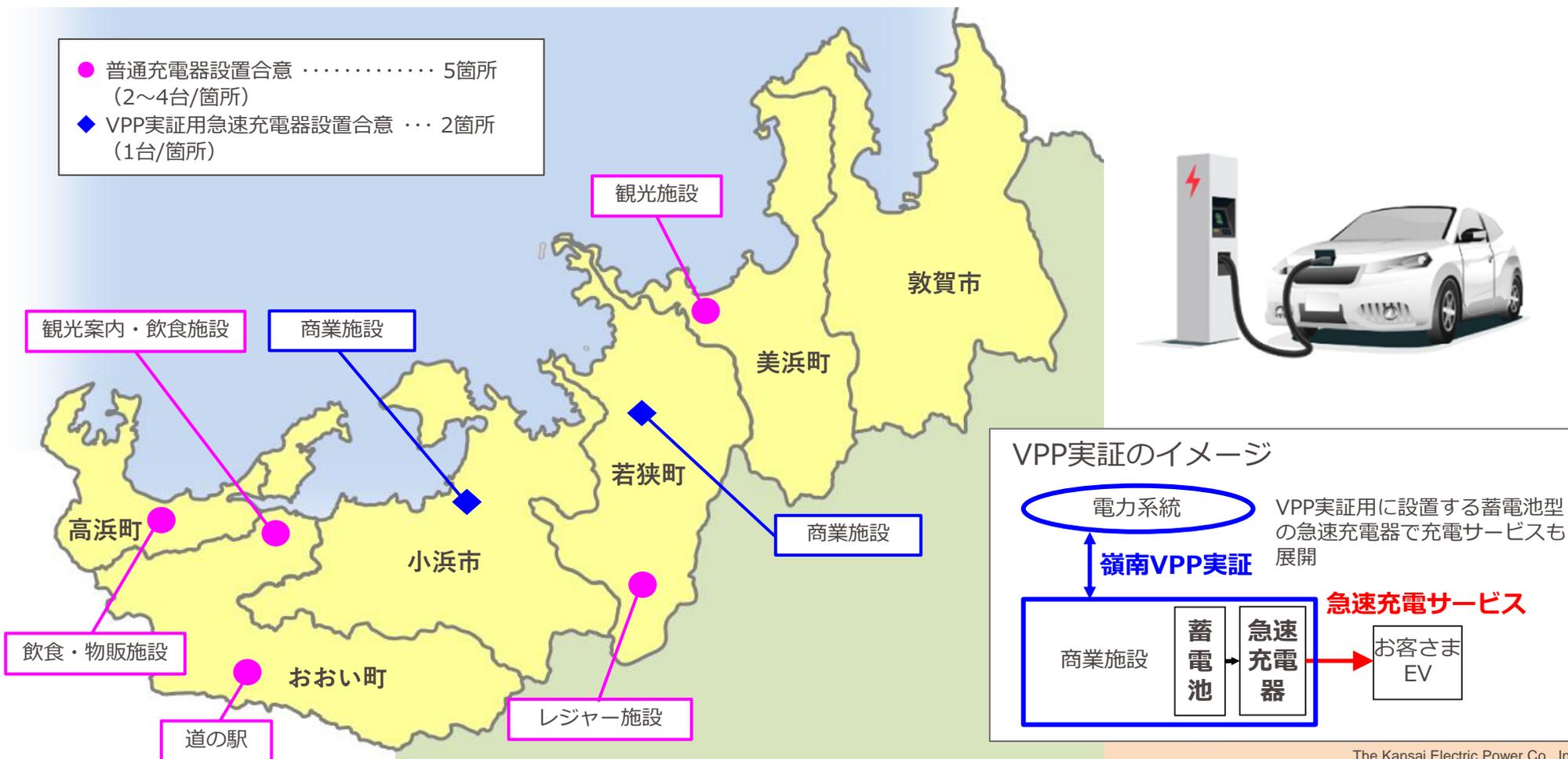
### 【想定スケジュール】

地域	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
美浜町	基礎調査	本格コンサルティング	コンサル結果反映	本格実施
嶺南全体			試運用	水平展開を検討



## EV充電器の設置

- 嶺南地域にEV充電器を設置し、充電サービスを展開。
- 嶺南地域向けの新たなEV充電サービスを商業施設や観光施設等にご提案。現在5箇所ですべて普通充電器の設置(2~4台/箇所)に合意。
- 加えて、嶺南Eコースト計画のVPP実証として、2箇所には蓄電池型の急速充電器を設置(1台/箇所)し、充電サービスも展開。



# 地域医療の充実

- 2007年度から2015年度の間、嶺南医療振興財団の奨学金制度により、医学生延べ50名に奨学金を貸与（奨学生医師35名、辞退者等15名）。
- 今後嶺南地域に勤務される予定の奨学生4名のうち、**3名が2025年度から嶺南勤務の意向**。
- また、嶺南医療振興財団に**新たな奨学金制度を創設し、2026年度から奨学金の貸与を再開**（2036年までに約50名の奨学生医師を確保予定〔福井県が必要とする医師数（嶺南地域）：約80名〕）。
- この創設に伴い、嶺南地域の課題である、**①医師の早期確保、②嶺南勤務の定着化、③特定診療科の医師確保に焦点をあてた制度を導入**。

《参考》奨学金制度（新・現）の返済免除要件  
 ・嶺南地域にて4年（義務年限）勤務した場合に限り返済免除

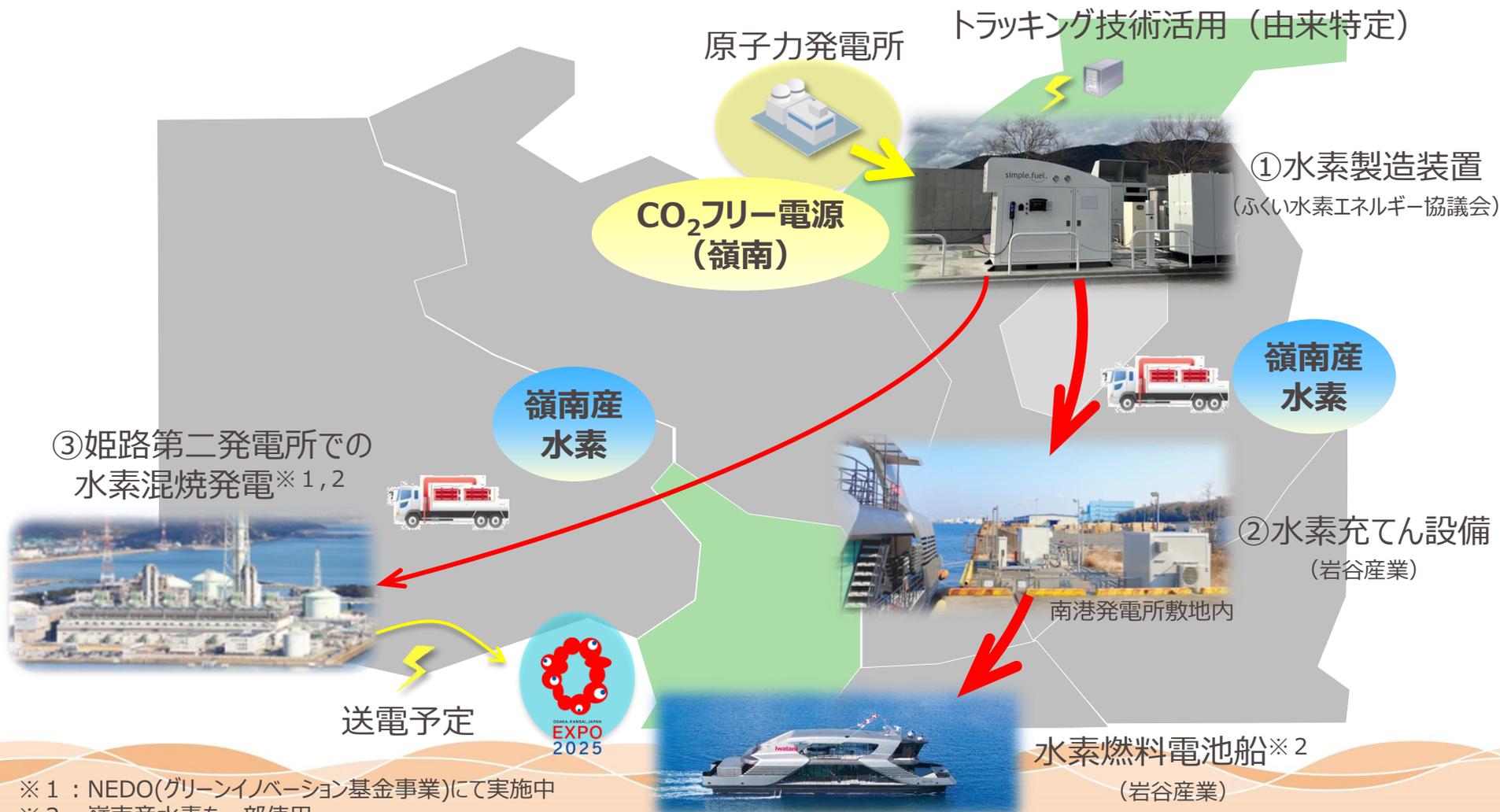
## 【新制度の概要】

項目	内容	イメージ
①早期医師確保に向けた貸与対象者の拡大	対象を1～6年生に拡大（2～6年生は福井大学生）	◇6年生に奨学金を貸与した場合 
②嶺南勤務の定着化に向けた義務年限見直し	臨床研修後、嶺南勤務を連続した場合、1/2の期間を義務年限に含める	◇嶺南での臨床研修（2年）後、連続して勤務した場合 
③特定診療科の医師確保に向けた貸与額の拡大	5～6年生の時に救急科・放射線科を選択する者に限り教育支援金を加算	◇6年生で救急科・放射線科を選択することを確約した場合（1年分の教育支援金を加算） 

## 2. 従前からの取組項目について

# 嶺南産水素の大阪・関西万博等での活用

- ① おおい町「うみんぴあエリア」において、水素製造装置の設置作業中
- ② 南港発電所において、水素燃料電池船への燃料供給設備の設置作業済
- ③ 姫路第二発電所で水素発電実証を行い、大阪・関西万博へ送電予定



※ 1 : NEDO(グリーンイノベーション基金事業)にて実施中

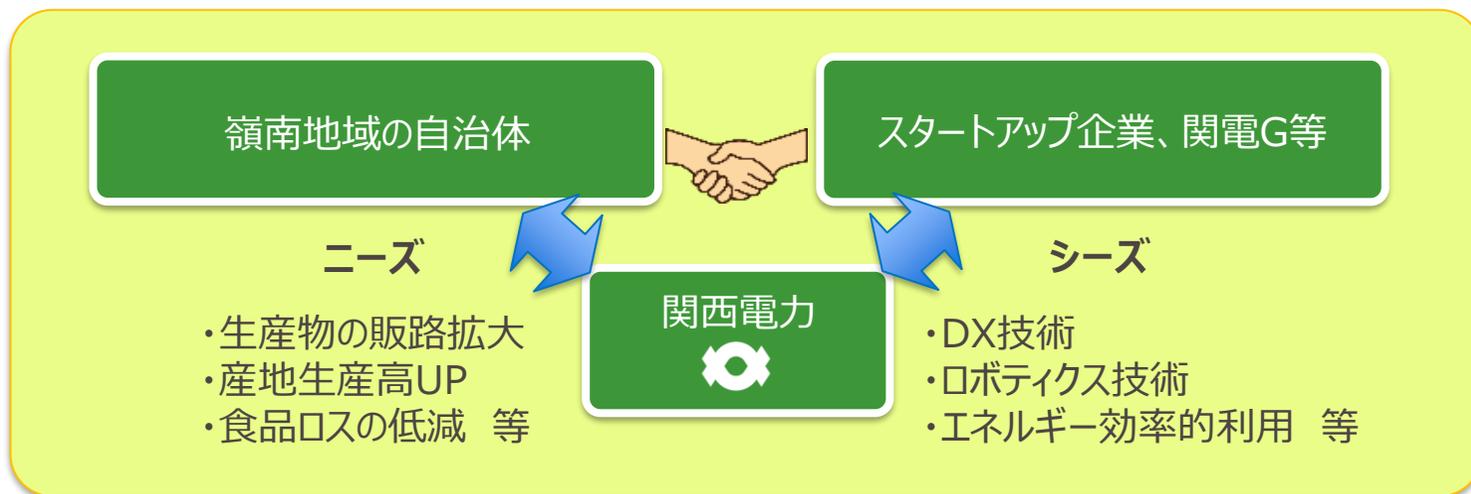
※ 2 : 嶺南産水素を一部使用

## 農・水・食分野におけるビジネスマッチングの取組み

- 農・水・食分野におけるビジネスマッチングについては、関係者の皆さまの多大なるご協力の下、連携して取組みを推進

### 【取組み内容のコンセプト\*1】

農・水・食の分野において、嶺南市町の皆さまのニーズと、こうした分野に長けた先進スタートアップ企業等の持つシーズを、当社が橋渡し役となってマッチングし、地域の新しいビジネスの創出につなげる取組みを進める。



\*1 : 「第3回 福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」関西電力説明資料  
 ([https://www.meti.go.jp/shingikai/energy\\_environment/fukui\\_kyosokaigi/003.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/fukui_kyosokaigi/003.html))

# 農・水・食分野におけるビジネスマッチングの取組み

➤ 各分野の地域ニーズに対して、スタートアップ企業等と共同し、地域に根付くビジネス創出に向けた取組みを展開、新たに「キダイの完全養殖技術開発」にも着手

ヒアリング等を通じて確認した  
地域ニーズ (課題テーマ)

課題テーマに知見を有する  
スタートアップ企業等

具体的な取組み

## ● 水産養殖業の強化

### ブランド魚の開発

地魚復活による水産事業の立ち上げ



リージョナル  
フィッシュ  
株式会社



強み: 品種改良技術、スマート養殖技術

- **ゲノム技術等**を活用した**品種改良**研究  
マサバ: 高温環境飼育  
アカウニ: 高密度環境飼育
- 県立大と連携した、**陸上と海面のハイブリッド型養殖事業の検討**

### 嶺南特産品の持続可能性

「小鯛のささ漬け」をサステナブルに



公立大学法人 **福井県立大学**



強み: 魚の生態等、水産全般の知見

- 嶺南の特産品「**小鯛のささ漬け**」の原料であるキダイを、**安定供給するための完全養殖技術**の開発
- **効率的な養殖方法**の検討

## ● 農業生産基盤の強化

### 生産技術・収益性向上

サステナブルかつ稼げる農業へ



株式会社  
**TOWING**



強み: 超良質土壌環境の生成技術  
(バイオ炭に微生物を付加し、  
有機質肥料と混合)

- **バイオ炭に活用できる地域資源** (地域の農水産業廃棄物) の**模索**
- **地域資源を活用**した良質な土壌環境が安定して提供できる**仕組みづくりの検討**

### デジタル化・産地形成

ITの力で農業の見える化を実現



テラスマイル  
株式会社



強み: データ一元化による分析、営農指導

- **農業経営クラウドサービス**を活用した栽培**データの取得**  
(温度管理による青ネギの最適生育モデルの作成)
- **取得したデータ活用による、生産性向上**の検討

# 農・水・食分野におけるビジネスマッチングの取組み

➤ 2024年度においては福井県立大学さま等との連携により、キダイの完全養殖に向けて人工授精やふ化に成功するなど、プロジェクト毎で一定の成果や効果を確認

2023年度

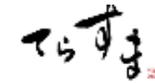
2024年度

2025年度以降

実証を開始し、より具体的な現場課題に対応  
地域内外事業者等との、本格的な連携を開始

実証結果などを踏まえながらビジネスの創出に向けた取組みを展開  
地域内外事業者等との連携を加速

引き続き地域内外事業者等と連携しながら、ビジネス創出を推進



- ・マサバの海面での高温耐性、育成検証
- ・シーフードショー（水産見本市）への出展
- ・完全養殖へ向けた、キダイの親魚確保、人工授精等の実施
- ・3者共同研究協定の締結
- ・グリーン協議会との連携による、稲作等での効果確認実証
- ・牛糞の高機能バイオ炭原料としての有用性などを確認
- ・データ活用による、栽培管理の改善
- ・積算温度による生育モデルの検討

